

黑龍江省檔案館編

滿鐵調查報告（第一輯）19

廣西師範大學出版社

昭和十四年八月

滿洲國ト世界主要各國ノ港灣行政ニ關スル調査

南滿洲鐵道株式會社  
鐵道總局 調查 查



目次

○滿洲國

一 港灣行政沿革

二 所管別ノ主ナル管理事項

○日本

一 港灣制度上ノ分類

二 港灣行政ノ沿革

(一) 單ナル土木行政時代

(二) 港灣行政ヘノ轉換

(三) 港灣行政ノ統一準備時代

三 港灣行政各論

(一) 土木行政

(二) 關稅行政並港灣ノ收入

(三) 運輸行政

(四) 航路並船舶關係ノ行政

(五) 海港ノ檢疫

(六) 搬出入積物及倉

(七) 漁業及漁港行政

(四) 海圖、水路誌及軍事關係  
 (四) 港内ノ取締  
 (四) 其ノ他行政事項

四 港灣經營

(一) 第一重要港灣ノ場合  
 (二) 第二重要港灣及指定港灣等ノ場合  
 (三) 港灣經營ノ私營

說

港灣ノ使用及其ノ料率ニ關スルモノ

附設

會計検査

港灣管理職員ト政府ノ任命權

港灣ノ制定ト認可

港灣ノ備ノ検査

高橋以下ニ於ケル設備ノ工事

難破船去ニ關スル爭議ノ解決

一〇 總論

議會關係事項

一 二 敕命令ニ關スル事項

國

一 概 說

二 港灣ノ水面ニ關スル行政

三 港灣ノ設備及利用ニ關スル行政

○佛 國

一 佛國港灣行政ノ沿革

二 港灣行政制度

三 非自治港ト自治港

○獨 國

一 ドイツノ臨港

二 港政主體ノ變遷

三 港灣ノ管理ト經營

(一) 臨港ノ直接管理廳

(二) 港灣區域ト臨港土地ノ管理

(三) 港灣工事

(四) 臨港道路



聯合委員會之職能  
聯合委員會之義務及權限外之事項



一 港灣行政制度ノ沿革

舊張政權時代ニ於テ水運行政機關ハ哈爾濱方面ニ於テハ哈爾濱航政局、東北航務局、東北江運局、東北造船所、東北水道局、松黑兩江郵船局、營口方面ニ在ツテハ營口航務部、遼河水利工程局、安東ニテハ安東海關監督部等極メテ亂雜ナル機關ニ依テ掌理サレ建國後ニ於テモ是事ノ諸機關ノ整理スルニテハツタカ滿洲國政府ハ建國ト同時ニ水運行政機關ヲ廢合統一シテ一元的ニ統制スル必要ヲ認メ交通部ニ水運司ヲ置キ地方行政機關トシテ大同二年六月十四日航政局官制ヲ公布シ營口安東、哈爾濱ニ航政局ヲ設置スルニ至リ同局所管事項ハ次ノ通テ了ツタ

第一條 航政局ハ交通部總長ノ管理ニ屬シ水路、港灣、船舶、海員、水先、航路探險、其ノ他水運ニ關スル事項ヲ管理ス

其ノ後地方ノ事情ニ應ジ康徳元年八月一日黑河ニ哈爾濱航政局黑河分局ヲ設置シ次テ康徳三年一月十日營口航政局壺蘆島辦事處ヲ設置シタ

康徳四年七月行政機關ノ整理ニ當リ、名稱ヲ航務局ト改稱シ且所管事項中港灣及出入船舶取締ニ關スル事項ハ哈爾濱航務局ハ河港取締ニ關スル事項ヲ管理スハ稅關ノ所管ト爲シ船舶登記ニ關スル事項ハ司法部ニ移管スルコトニナツタ又康徳四年七月二十八日營口航務局壺蘆島

辦處ハ分局ト改稱シタ

即チ港灣行政中主ナル管理事項ヲ詳述スレハ次項ノ通テアル

## 二 所管別ノ主ナル管理事項

土木行政

海國ノ港灣ハ凡テ國ノ營造物ナリトノ主義ヲ採用シテ居ル爲其ノ  
與ハ中央政府ノ交通部管理トナツテ居ル從テ公物トシテノ港灣ノ  
維持政運用ハ總テ交通部ノ所管ニ屬シ現ニ本部ニ於テハ航路司、又  
出先ニ於テハ航務局ノ管理スル所トナツテ居ル  
即チ兩者ノ管理事項ヲ總クレハ次ノ通テアル

### ○國務院各部官制（交通部）

第五十六條 航路司ハ左ノ事項ヲ管掌ス（三、四省略）

一 河川及公有水面ニ關スル事項

二 港灣ニ關スル事項

### ○航務局官制

第一條 航務局ハ交通部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ管掌ス（一、二

省略）

三 航路及港灣ノ維持改良ニ關スル事項

四 關稅行政並港灣收入

1 關稅行政總下管理事項

關稅行政ハ中央政府ニ於テハ經濟部稅務司關稅科ノ出先ニ於テハ

關稅力管掌シテ居ル者ノ管理事項ヲ舉クレハ次ノ通テアル

○經濟部分科規程

十六條 關稅科ハ左ノ事項ヲ掌ル(九、十、十一、十二省略)

一 關稅及噸稅ノ徵收及拂戻ニ關スル事項

二 稅關諸手續料ニ關スル事項

三 保稅區域ニ關スル事項

四 輸出入、轉口及保稅物品取具ノ運搬具ノ取締ニ關スル事項

五 關港、稅關停車場、稅關飛行場及通關局ニ關スル事項

六 通關代理人ニ關スル事項

七 關稅及噸稅令犯則處分ニ關スル事項

八 輸出入物品ノ調査及鑑定ニ關スル事項

○稅關官制

第一條 稅關ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ管掌ス(二、

三、四、八、九省略)

一 關稅、噸稅及稅關諸收入ノ徵收ニ關スル事項

五 關稅代理人ニ關スル事項

- 六 關稅及噸稅法令違反者處分ニ關スル事項
- 七 貿易統計ニ關スル事項

2 港 務 收 入

海外通商ニ係ル船舶並積荷ニ對シ定率ノ噸稅、開稅及諸手数料ヲ  
 徴收スルハ各國ノ一致シタ方針テアツテ滿洲國ニ於テモ經濟  
 一（稅則）カ此ノ徵收事務ニ當ツテ居ル

又港灣ハ國ノ營造物テアル關係上之カ使用ニ對シテハ入港料ヲ收  
 入シ更ニ之カ專用ニ對シテハ公有水面使用料ヲ徵收シ得ルカ此ノ  
 點ニ交通都ハ省公署ヲシテ之等ノ諸課料ヲ徵收セシム

三 港 内 ノ 取 締

1 開港港則施行ノ地ニ於ケル船舶、車輛、其ノ他運搬具ノ出入移  
 動、碇繋、輸出入物品及保稅區域ノ取締ニ關シテハ左記ノ通稅關  
 監視科並港務科ノ管理ニ屬シテ居ル

○稅關官制及同分科規程第五條及第七條參照

- 第一條 稅關ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ管掌ス（一、
- 五、六、七、九省略）
- 二 保稅區域其ノ他關稅法令上取締ヲ必要トスル區域ニ關スル

三 出、輸入、輸出、積戻、外國經由運送及保稅物品ノ取締

ニ關スル事項

四 船舶、航空機、且船共ノ他ノ運搬具ニ關シ前各號ニ掲クル  
事項ノ執行ノ爲必要ナル取締ニ關スル事項

八 開港港則ニ關スル事項

8 開港地以外ノ港灣ニ於ケル船舶、車輛、其ノ他運搬費ノ出人移  
動、錠緊、移出入物品等ノ取締ニ關シテハ航務局ノ管掌スル所テ  
アル（航務局官制第一條）

8 次ニ港内衛生並檢疫ト警察事務ハ前者ハ稅關檢疫科ニ、後者ハ  
市所在地ニ於テハ省警察廳水上署、其ノ他ノ地方ニ於テハ縣水上  
署ノ管掌スル所テアル

四 航路並船舶關係ノ行政（船舶、船員、水先案内及航路標識等）之  
等ノ管理權ハ中央政府ニ於テハ交通部航路司ニ、出先ニ於テハ航務  
局ニ屬シ其ノ所管事項ヲ摘記スレハ左ノ通テアル

○交通部分科規程（交通部航路司水運科）  
第十四條 水運科ハ左ノ事項ヲ掌ル（一、八省略）

5

- 二 航路ニ關スル事項
- 三 航運業ノ統制及監督ニ關スル事項

四 船舶ニ關スル事項

五 海事審判ニ關スル事項

六 船員及水先人ノ取締ニ關スル事項

七 航路標識ニ關スル事項

○航務局官制

第一條 航務局ハ交通部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ管掌ス（二

省略）

一 船舶、船員、水先、航路標識、其ノ他水運ニ關スル事項

三 航路及港灣ノ維持改良ニ關スル事項

五 運輸行政

滿州國ニ於ケル鐵道、自動車、道路、水路港灣、河川、航空、郵便  
電信等ノ交通運輸部門ハ舉ケテ交通部ノ管理トナリ、交通行政機構  
上最大規模ニシテ又統制の型態ヲ具ヘテ居ル即チ現在ノ交通部行政  
組織ヲ圖示スレハ左ノ通テアル

一 參事官室

一 秘書官室

一 人事科

一 文書科

一 大臣官房

行政科  
資料科

鐵路司  
鐵道科  
自動車科

監理科

道路司  
直轄工事科  
地方工事科

水運科

航空科

航路司  
工事科

調查科

船員養成所

土木建設處 (牡丹江、蘭州、齊齊哈爾)

航務局 (哈爾濱、安東、營口)

六 漁業及漁港行政

這ハ産業振興ノ立場カラ産業、交通兩部ノ管理ニ屬スルカ滿洲國ニ  
於テハ未ダ漁港施設ノ類例ヲ見ナイ

七 海圖、水路誌及軍用海圖

海圖、水路誌及軍用海圖

海關、水陸誌等ハ交通部（航務局）ノ管理ニ屬シ治安部ハ海上警察隊（奉天省營口市）ヲ置イテ管轄海上ヲ警戒シ不正入國、密輸出入及密漁ノ監視取締海上ノ治安維持ニ任セシメテ居ル

チ 其ノ他ノ行政事項

其ノ他領事館事務ハ外交部、貿易、金融、保險、貿易商並倉庫業、市場等ハ産業部測候所ニ關スル事項ハ民生部、鹽專賣ニ關スルモノハ經濟部ノ管轄トナツテ居ル



一 港灣制度上ノ分類

- (一) 港灣ヲ其ノ所在ニ依テ分類スレハ海港、河港、湖港ノ三トナリ、我國ノ港灣ハ多クハ海港ニ屬スルカ、伏木、新潟、土崎、伏見諸港ノ如キ河港ニ屬スルモノ、大津港ノ如キ湖港ニ屬スルモノモアル
- (二) 港灣ヲ其ノ用途ニ依テ分類スレハ商港、軍港、避難港、漁港、檢疫港等ニ分ツコトカ出來ルカ、我國ニ於テハ未タ單ニ避難港トシテ又ハ檢疫港トシテ特設シタモノハナイ
- (三) 次ニ港灣ノ重要性ニ依テ分類スレハ、國港及地方港ノ二ト爲スコトモ出來ル
- (四) 又港灣ニ關スル費用ノ負擔者ヲ標準トスレハ國費支辨港及地方費支辨港ノ二ニ分類シ更ニ後者ハ府縣費支辨港ト市費又ハ町村費支辨港トニ分ツコトモ出來ル
- (五) 商港ヲ成法上ニ於テ分類スレハ開港ト然ラサルモノトニナル。開港トハ開港港則ノ適用ヲ受クル港ヲ謂ヒ、現在其ノ數四十五ヲ算スルカ其ノ内從來ノ開港タル横濱、長崎、函館、神戸、新潟、夷及大阪ノ七港ハ所謂恒久的ノ開港テアリ、殘餘ノ三十八港ハ滿二箇年毎ノ輸出入貨物ノ價格カ五萬圓ニ達シナイトキハ之ヲ閉鎖シ、又交通